

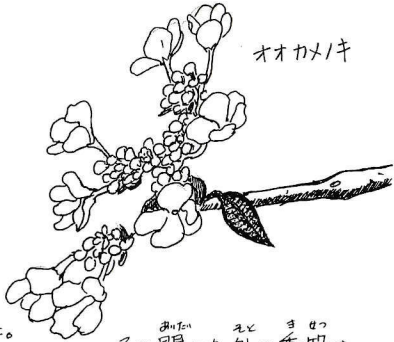
変わらずにあつて欲しいもの... これからも。

おおばこ 植田町の自然探し・223 2024.5.4

少し見えない内に、季節は進む!〜生物暦

4月14日〜20日の週はご近所巡りはやむなくお休みでした。

かんさつ種別/年	2019	2020	2021	2022	2023	2024
クスノキ落葉		4/2	4/2	4/7	3/22	4/5
ハマツカ開花	4/18	4/15	4/10 (満開)	4/19 (満開)	4/10 (満開)	4/12
クロバヤ開花	4/18	4/15	4/9	4/12	4/10	4/12
フジ開花	4/24	4/16	4/10	4/16	4/10	4/23
スタジイ開花	5/3	5/5	4/20	4/28	4/20	4/26



オオカメキ

その間にも、外の季節は

いんどん変わっていくのか? 分かりました。フジの様子か? 気になって、ポイントを訪ねて、七分咲きの感じでした。

オオジユリ

オオジユリには、夏羽の姿から「鍋かぶり」という呼び名がある。



オオジユリ

北の地域へ渡ります。

オン・ステジ!! 新たなハトリも!!!

遅う声もする... その方を見たら... モズの産卵か?

正に、他の鳥の鳴き真似 奥演中! し、かり見たの

は初めて! しかもコジユリの「チョットゴイ、チョットゴイ」の鳴き回りは見事にしてました! 新たなハトリ-モズ (これまで聞いた他のハトリは、イソヒヨドリ、アヒ、ヤマガラがありますヨ!!)



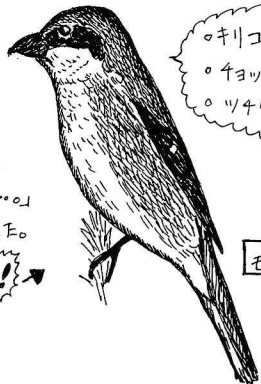
カンムリカイツツリ

夏の装いで、旅立ちへ。

やかに、カンムリカイツツリはユーラシア大陸へ、オオジユリは

3月25日、植田川の

カンムリカイツツリの中には、きれいな夏羽に変りかけている者も。オオジユリも夏の黒い頭に変身中。



モズ

3月28日、待地近くで

「カワラヒロが鳴いているナ...」と思っていました。

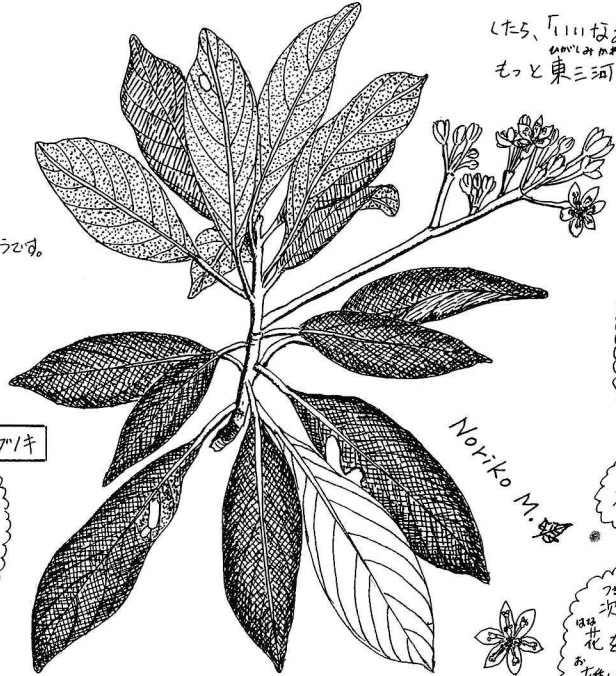
所か!

もう少し、みんなに知ってもらいたい... タツキの鬼未カ!!

豊橋市の樹はクスノキのイ-シですが、クスノキは大半が植えられて来た樹で、実際に自然に生息している主な樹と言えは、タツキでしょう。渥美〜豊橋にはまが普通にあるけれど、便利に注目する人は少ない? 尾張地域には多くはなく、そちらの自然観察の人にこちらのタツキの多さを話

したら、「いいなあ〜。」でしたヨ。もつと東三河の人々に知ってもらいたい樹です。

大きな樹は素晴らしく、家具や船材、線香の糊にも利用されてきた。



タツキ

通信番外編 2021年6月16日にも取り上げています。

Noriko M. 嬢

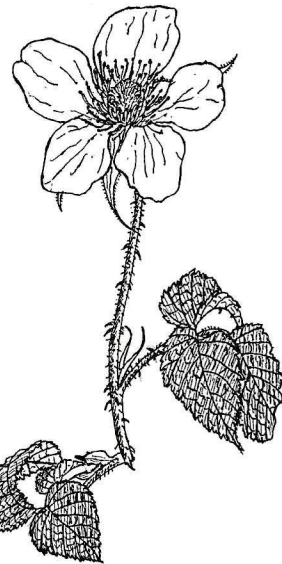
特徴が無いと言われているけれど、芽の形や枝の色、花や果の姿を知ったら、決して言えないですヨ。

花の魅力はなかなか描き切れない...

次の春(4月)には花を良く見て下さい! 雄しべや腺体も観察して下さい!!

春が去って行ってしまった...

クサイヤゴの群落のお花畑をもう少し楽しみたいかったのですが、4月26日にはすっかり終わってしまいました。また、来春に!



クサイヤゴ

発行: 牧野 紀子 (もり〜ゆ) 豊橋市植田町 <http://morigaiisutekisizen.hatenablog.com/> 「絵を描く時は、写経をする気持ちで行っている」と言った方がいますか、この通信に向かうのも、正にそんな感じ。